

2024年度 認定 NPO 法人ブリッジフォースマイル 事業方針

1、基本方針

2024 キーワード <支援体制の再構築> <政策提言>

4月からは「社会的養護自立支援拠点事業」が始まり、これまで福祉に繋がらなかった若者を支援対象とすることや、緊急的に住まいが必要となる人への短期的な住まいの提供など、ニーズは質量ともに広がっています。一方で、行政間の支援格差や、行政の枠組み

だけでは解決されない問題も見えています。

今年はこれらの変化に合わせて、あるべき支援の形を再構築します。受託の有無に関わらず、SOSを求めた人に対して、独自予算でも支援を行い、支援結果を集計分析し、政策提言につなげていきます。

2、トピックス

■8 自治体から退所後支援事業を受託

現在、東京都、横浜市、江戸川区、世田谷区、豊島区、佐賀県、熊本県・市、北海道の8自治体から事業受託が決まっています。4月より新しい制度に移行していく予定でしたが、こども家庭庁からの通知の遅れに伴い、自治体内の手続きにも遅れが生じていて、不明確な状態を抱えたままのスタートとなります。

複数の自治体と協働するB4Sならではの視点や方針を行政担当者にも理解してもらいながら、より効率的でより実効性のある支援を目指します。

■住宅支援の拡充

社会的養護自立支援拠点事業に「一時避難的かつ短期間の居場所の提供」という支援が含まれたことにより、B4Sでは現状維持の方針であった住宅支援事業を拡充します。2024年4月から東京都台東区、神奈川県横浜市、6月から北海道札幌市にて、ショートステイの開始、9月から神奈川県横浜市にて、2棟目となるシェアハウス立ち上げを予定しています。

これにより、帰住先を失っている若者が一時的または中長期的に滞在し、状況が安定するまでの間、居住支援・生活支援を行える体制を整えます。

■クラウドファンディング実施

住宅支援事業について、北海道以外は行政予算が組まれていないため、独自予算で実施します。そのため、6月から1000万円を目標とするクラウドファンディングを実施します。

クラウドファンディングの目的は、資金調達のほか、より多くの方々に認知されること、応援の輪を広げることです。また、全国の事務局スタッフだけでなく、サポーターや企業などの協力も得て、これまでの活動を振り返り、今後の活動への意欲増進につなげます。

■巣立ちプロジェクトのアップデート

設立当初から実施しているB4Sの看板プログラム、巣立ちプロジェクトを大きくアップデート(更新)します。会場開催セミナーは、高校生がチームを作り、自ら必要な知識情報をとりにいくという、高校生の主体性をより重視した内容になります。オンライン開催セミナーは、カリキュラム内容をブラッシュアップし、東京・佐賀・熊本・北海道の全拠点統一で行います。

時代の変化と子どもの変化に合わせた新しい「巣立ち」で、子どもたちの自立をサポートします。

■ボランティア育成方針の転換

これから新たにB4Sとつながる若者が増加し、これまで以上に相談者の個別事情・課題に応じた多様な支援が必要になります。それらの支援ニーズにスピーディに対応するため、人員体制の整備が急務です。

そこで、ボランティア一人一人の強みや特性、希望を把握するため個別面談を実施。それぞれの適性に合わせて活動への人員配置や育成を行います。

事務局スタッフの丁寧なサポートと、それによる活動参加経験を通じて、ボランティアの自己効力感を高め、B4Sの活動を長く継続いただくことを目指します。